

奈良県障害者大芸術祭実行委員会の設立

設 立 趣 旨

奈良県では、「奈良のアートをもっと身近に！奈良の福祉をもっとクリエイティブに！」を合言葉に、平成23年度から「奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA」を開催し、障害者の芸術活動の浸透・拡大を図って参りました。

一方、平成26年度からは、「文化の力で奈良を元気に！」をテーマに、「奈良県大芸術祭」を開催してきており、ますます盛り上がりを見せているところです。

こうした中、全国障害者芸術・文化祭と国民文化祭を全国で初めて一体開催した「国文祭・障文祭なら2017」が、平成29年9月から11月までの3ヶ月間、県内全市町村で開催されました。

「障害のある人となない人の絆を強く」を基本テーマの1つに掲げた両大会からは、障害のあるなしにかかわらず誰もが参加し楽しむことができる文化芸術活動が誕生するなど、多くのレガシーが得られました。

今後は、これらのレガシーを受け継ぎ、「奈良県障害者芸術祭」を「奈良県障害者大芸術祭」と名称変更し、「奈良県大芸術祭」と一体開催していくことで、障害のある人となない人が「交流・共創」する芸術文化活動の「先駆者」として全国に発信していきたいと考えています。

奈良県障害者大芸術祭と奈良県大芸術祭の一体開催を成功させ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化を奈良のブランドとして力強く発信していくためには、全県を挙げて開催気運の醸成を図っていくことが重要であることから、県内外の関係機関および団体等の皆様方のご理解とご協力を得て、開催の準備および運営を進めていくこととし、ここに「奈良県障害者大芸術祭実行委員会」を設立するものです。